
夜明け

天窪 雪路

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夜明け

【Nコード】

N8879P

【作者名】

天窪 雪路

【あらすじ】

つまり僕の言いたいののは、そういうことなんだ。

もう僕にはうまく思い出すことができない。キミの優しい唇も、キミの肌の温もりも。

その時には確かに、それらは僕のほとんどすべてであったと思う。キミがいるから僕がある。

そういう風に思ったことすらあった。

けれど、どれだけ尊い存在であったって、今となっては過去の記憶に過ぎない。

ずいぶんと時は流れた。僕は恋人のキミを失い、やがてキミの優しい唇も、キミの肌の温もりをも失ってしまった。けれど、キミを失ってしまった僕が僕を失わずにいられたのは、僕の指先からは既に失われてしまったはずのキミの温もりが別のカタチで僕を温め続けてくれたからだと思う。

別のカタチで。

それはもしかすると精神的な温もりとして説明できるかも知れない。

どれだけ満ち足りた夜があったとしても、そこで味わった至福の感触は朝日の訪れとともに薄れ、消えていく。けれど、その夜の記憶は肉体的感覚を超越して僕の精神的感覚を満たし続ける。

つまり僕の言いたいのは、そういうことなんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8879p/>

夜明け

2011年1月19日21時23分発行